

わたしたちの街に新しい発見

三崎スポーツ少年団35年の夢叶う！ 初の愛媛県制覇！ 初の全国大会へ



5月17・18日、新居浜市で第22回全日本小学生男子ソフトボール大会愛媛県予選が開催されました。三崎スポーツ少年団は気魄あふれる戦いのすえ、創部35年目にして初めて愛媛県の頂点に立ち、全国大会への切符を手にしました。

生涯学習だより

ふれあい

いかいた

毎月第2日曜日は「家庭の日」です。

7月のテーマ“楽しい夏をむかえよう”

(実践方法)

- 夏休みの生活設計について話し合おう。
- 地域の行事や少年団体の活動に親子そろって参加しよう。

平成20年
7月1日発行

No.39

7月号

教育委員長に松田光一氏(久保) 新教育委員に土居由美氏(三崎)が就任

塩崎幸生教育委員長の任期満了に伴い、町議会の同意を得て土居由美氏(三崎)が新教育委員に就任しました。

このことを受けて、5月19日の教育委員会臨時会において、教育委員長に松田光一氏(久保)が選ばれました。

就任挨拶

教育委員長
松田光一



を図ることなどが明記されています。アメリカ合衆国の民主党大統領候補のオバマ氏は予備選挙の演説の中でWe can(われわれは出来る)というフレーズを数多く使い、対してヒラリー氏はI can(私は出来る)を多用したそうです。結果は戦前の予想を覆してオバマ氏の勝利となり民衆はWe canを選択したのでした。

私は教育もWe canの時代になったと思います。学校と家庭と地域が今「みんなで子供を育てる」を相言葉に深く連携をしていかなければならぬないと考えます。

塩崎委員長の後任として、伊方町教育委員長に就任いたしました松田光一です。

平成十八年に約六十年ぶりに教育基本法が改正されました。そこには家庭教育の重要性や学校・家庭・地域の連携

して統合の動きが加速しますし、少子化を止める即効薬というのも現状では見当たらないような気がいたします。しかしこのような時代であるからこそ「子供は伊方の宝」であることを町民である我々の共通認識としたいと考えます。

豊かな自然、厚い人情、このような素晴らしい環境の中で育つ子ども達にとって、周囲にいる我々の「育てる気持ち」これが最高のプレゼントであると信じています。

私は現在高校生と小学生の四人娘の母として暗中模索の子育てをしています。母として、女性として日々頑張りたいと率直に伝えることで務めを果たすことができれば幸いです。

そのためには微力ではありますが私も全力を捧げ、努力を重ねたいと思います。ともご指導ご協力を賜わりますようお願いいたします。

将来の伊方に夢と希望を抱いて、諸先輩方のご指導の下、未熟ながらも

教育委員
土居由美



精一杯力を尽くしたいと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。

教育委員名簿

委員長 松田光一
委員 戸田義則
土居由美
森 清

委員長職務代理者
教育長 田村ヤヱ子
平成20年5月19日現在





ペタンク



選手宣誓



ソフトボール



レクバレー



表彰式



ゲートボール

平成20年6月8日(日)伊方中学校グラウンドを主会場に、伊方スポレク祭2008が開催されました。梅雨入りといふことで、天候を気にしながらの準備でしたが、当日は雨の心配もなく絶好のコンディションでの開催となりました。

午前8時30分からの総合開会式の後、種目ごとに各会場に分かれて、熱戦を繰り広げました。競技は、ペタンク・レクバレー・ソフトボール・ゲートボールの4種目の地区対抗戦で行われ、小学生から高齢者まで約100名の選手・役員が集い、ひとつひとつプレーに歓声を上げ、心地よい汗を流しながら乐しそうに一日を過ごしました。

主な試合結果は、次のとおりです。

盛大に開催 伊方スポレク祭2008



伊方スポレク祭2008 結果表

種 目	優 勝	準優勝	3位	3位
ペ タ ン ク (小学生の部)	豊之浦	川永田一	須 賀	—
(高齢者の部)	久 保	湊 浦	須 賀	—
(一般女子の部)	豊之浦	向	田之浦	—
(一般男子の部)	町議会B	伊方越	中 浦	—
レ ク バ レ ー	中 浦 A	田之浦	湊 浦	畠
ソ フ ト ボ ー ル	湊 浦	小 中 浦	大 浜	田之浦
ゲ ー ト ボ ー ル	向	中 浦 B	河 内 A	—

種 目	最 優 秀 選 手 賞	敢 閣 賞
ペ タ ン ク (小学生の部)	稻 田 拓 也(豊之浦)	高 月 大 輔(川永田一)
(高齢者の部)	山 口 サ 力 卫(久 保)	西 田 實(湊 浦)
(一般女子の部)	稻 田 敏 子(豊之浦)	浪 下 ナ ミ 子(向)
(一般男子の部)	篠 澤 英 春(町議会B)	兵 頭 憲 二(伊方越)
レ ク バ レ ー	亀 井 教 行(中 浦 A)	山 下 博 文(田之浦)
ソ フ ト ボ ー ル	三 好 和 彰(湊 浦)	三 好 良 治(小 中 浦)
ゲ ー ト ボ ー ル	谷 口 武 彦(向)	矢 野 雄 三 朗(中 浦 B)

公
民
館
だ
よ
り

婦人学級スタート！開講式

中央公民館



英語でアーロンとジャンケン



もちつき体験「よいしょ～」



ペタンク大会「そ～れ～」

5月21日(水)学級生51名で、今年も婦人学級がスタートしました。

まず第1回目は、年間學習計画について話し合いました。

した後、国際交流員(CーB)のアーロン・マドロンケイさんに講話をしてもらいました。

パワー・ポイントを使って簡単な英語とカタカナ英語の違いを四者択一で間違いを選んで進めていくというものでした。

次に自分の家族等の紹介写真を使って英語の正しい発音を口に出して練習したり、思わず学生の頭にタイ

ムスリップしたような懐かしい気分を味わいました。

アーロンの話の中には、

「小学校では子ども達は、

「ううう反応をするんですよ」

とか「子ども達には、これはうけなかった」とか学級生と

子ども達の受けとり方の違

いを体験を交えながら楽し

く進めていた。その話の内容

と優しい笑顔に学級生のみなさんも思わず引き込まれてしまっていました。

まつり前日には、恒例の餅つき

が行なわれ九町小・伊万中の児童・

生徒も参加し、杵と臼を使った昔

ながらの餅つきを体験しました。

当日は、作品展示コーナーが設

置され、高齢者講座・婦人学級生

による作品や児童・生徒による書画・三崎あいの樹学級生による作品など、たくさんのお品が展示され、まつりを彩りました。又、ふれあいバーやリサイクルバザーも行われ大変盛り上がっていました。

た。ペタンク大会では、小・中学生成された24チームによるリーグ戦・トーナメント戦が行われ、とても和やかな中で交流を深めることができました。午後からはゲーム大会・福引きのあと、芸能発表大会

が行われ、小道具などを使っての歌や歌手顔負けのなどを披露され

ていました。今年のまつりも天候に恵まれ大勢の方々の参加と盛り沢山なプログラムで子どもからお

年寄りまで地域の方々みんなで交流を深め楽しい一日となりました。

ふるさとまつり盛大に開催

町見公民館

受講生募集中

瀬戸公民館

着付け教室

着付けの基本的な知識やマナーを身に付け、素敵に着こなしてみませんか。手軽さゆえに、多くの人が着るようになつた浴衣。だからこそ、着付けで差をつけたいものです。凛とした美しさは、正しい着付けでも表現できます。

- 講師 川之浜 是澤多枝子さん
- 申込み・問い合わせ先 瀬戸公民館 電話57-2111
- 受講料 1,000円
- 申込み期限 7月4日(金)

- 実施月 7月・8月の第2・第4金曜日
- 7月 沐衣の着方
- 8月 訪問着の着付けと帯結び



瀬戸公民館では、毎月、毎週水曜日の9:00～11:30の間、陶芸教室を行っています。心静かに作るなり、お喋りしな

陶芸教室

がら作るもよし、世界で一つだけのあなたの作品を作つてみませんか。

興味のある方は、瀬戸公民館
(電話57-2111)までご連絡ください。



あこう樹学級の開校式



三崎公民館の各種学級が始まりました。人権に関する学習や趣味、教養を広げる目的とした「あこう樹学級」が5月16日に開校。女性同士で楽しく学び趣味や教養を広げる目的とした「生活学校」(49歳以下)と「女性講座」(50歳以上)が6月の日に開校しました。

それぞれの学級で学級長を決めたり年間の行事計画を話し合つたりしました。また、母親としての知識と自覚を身につけることを目的とした「ママさん学級」は、一足早く4月4日に開講しましたが、5月19日に2回目となる子ども達とのビデオ鑑賞会を行いました。

各種学級スタート

三崎公民館

皆さんも生活学校や女性講座で一緒に学習しませんか。興味のある方は、三崎公民館までお問い合わせください。(電話54-1111)



生活学校と女性講座の合同開校式



ママさん学級 子ども達とビデオ鑑賞会



学校通信



大久小学校の児童は、神崎・田部・高茂・川之浜・大久(リゾートを含む)の五つの地域から通学しています。しかし、それらの地域が10kmほど離れて点在しているので、子どもたちの中には、校区でありながら一度も足を踏み入れたことのない地域があります。そこで、前年度末の学芸会で、神崎に伝わる「お神楽」を地域の保存会の方々と一緒に披露したことがあげられました。「自分たちの校区にある地域のよさを子どもたちに知らせよう」という気運が高まつたこともあり、今年度の遠足や他の学校行事、総合的な学習の時間を活用してそれぞれの地域へ出向く機会をつくろうということになりました。

大久小学校の児童は、神崎に伝わる「お神楽」を地域の保存会の方々と一緒に披露したことがあげられました。「自分たちの校区にある地域のよさを子どもたちに知らせよう」という気運が高まつたこともあり、今年度の遠足や他の学校行事、総合的な学習の時間を活用してそれぞれの地域へ出向く機会をつくろうということになりました。

大久小学校の児童は、神崎に伝わる「お神楽」を地域の保存会の方々と一緒に披露したことがあげられました。「自分たちの校区にある地域のよさを子どもたちに知らせよう」という気運が高まつたこともあり、今年度の遠足や他の学校行事、総合的な学習の時間を活用してそれぞれの地域へ出向く機会をつくろうということになりました。

校区巡り、その1「遠足」

大久小学校

その手始めの行事が春

の遠足でした。往復10kmの道のりを全校児童50人が川之浜をめざして歩きました。お天氣にも恵まれ、旧国道を通り、途中からは里道を通って行きました。日頃使っていない里道だから両側から草が生い茂っているだろうと思っていましたのですが、子どもたちが遠足で通ることを保護者が聞きつけ、前日にきれいに草を刈っていました。お陰で子どもたちは、けがをすることもなく目的地をめやすうことができました。川之浜の海岸では、学年の区別なく楽しく笑いあって遊び姿を見ることができました。

今後子どもたちは、今まで行ったことのない地域へ足を踏み入れる楽しさや地域の良さ、そして地域の方々が自分たちを守つてくださっていると感じていくことでしょう。「触れてこそ理解できる地域の良さ」をこの一年間で味わわせたいと思っています。

その手始めの行事が春の遠足でした。往復10kmの道のりを全校児童50人が川之浜をめざして歩きました。お天氣にも恵まれ、旧国道を通り、途中からは里道を通って行きました。日頃使っていない里道だから両側から草が生い茂っているだろうと思っていましたが、子どもたちが遠足で通ることを保護者が聞きつけ、前日にきれいに草を刈っていました。お陰で子どもたちは、けがをすることもなく目的地をめやすうことができました。川之浜の海岸では、学年の区別なく楽しく笑いあって遊び姿を見ることができました。

新種目のみんなでジャンプ、おじいちゃんやおばあちゃんの大玉転がし、伝統行事である親子対抗リレーなど、出場者全員力いっぱいがんばりました。特に、親子対抗リレーでは、低学年のころは余裕で走っているお父さんやお母さんが、なんだん真剣になる姿が感動的です。

午後からは快晴となりました。両親として奉仕活動にも参加していました。海の男が慣れない鍬や鎌を持ち、畠を耕しました。息を合わせてジャンピングー

家族運動会と親子奉仕活動

佐田岬小学校

子どもたちの成長を実感する瞬間です。でもまだ小学生に負けるわけにはいきません。地

域の方々もたくさん応援においていただぎ、盛り上げていた

子どもたちも一緒に汗して働く喜びを体験できました。

一日中、本当にありがとうございました。翌日の筋肉痛は大丈夫だったでしょうか。

約一時間後には、学校は見違えるようにきれいになりました。子どもたちも一緒に汗して働く喜びを体験できました。

また、翌日は、筋肉痛は大丈夫だったでしょうか。

親子花の寄せ植え会

九町小学校

違います。マリー・ゴールドや日々草等、色とりどりの花とみんなの笑顔が咲き乱れ、まるで一面花畠の立派な花を咲かせてくれたものです。こうして親子で植えた苗は、大事に育てられていくに

緑に囲まれた九町小学校は、いつも四季折々の花が校門や花壇を飾り、その花々を児童や職員は勿論、地域の方々にも楽しんでいただいている。

また、昨年から障害児児童支援事業の一環として、宇和町の知的障害者厚生施設「希望の森」の方に来ていただき、親子で花の寄せ植え会を行つてきました。今年は6月9日に8名の方と一緒に、全校児童や保護者・職員が五種類の花の寄せ植えに挑戦しました。この苗は、希望の



息を合わせてジャンピングー



やわらかい土になあれ！





図書館だより



今月の新刊

○子ども向け

- ・のねずみチッチ / ふくざわゆみこ 著
- ・ガンバリルおじさんと木オちゃん / やなせたかし 著
- ・ごくらくねこ / 内田麟太郎 作、大橋重信 絵
- ・ちいさなたからもの / アンドレ・ドーハン 作、角田光代 訳
- ・しづかに! ここはどうぶつのとしょかんです / ドン・フリーマン 作、なかがわちひろ 訳
- ・夢かけるトップアスリート谷亮子物語 / 本郷陽二 編
- ・ホーミニ・リッジ学校の奇跡! / リチャード・ペック 作、斎藤倫子 訳
- ・3年2組は牛を飼います / 木村セツ子 作、相沢るつ子 絵
- ・クウと河童大王 / 小暮正夫 作、こぐれけんじろう 絵
- ・ABCDEFG殺人事件 / 鯨 統一郎 著
- ・真夜中の学校で / 川端裕人 作、鈴木びんこ 絵
- ・きのうの少年 / 小森真弓 著

ほか



○一般向け

- ・裁判員法 / 船山泰範、平野節子 著
- ・りすん / 謙訪哲史 著
- ・カルトローレ / 長野まゆみ 著
- ・やさしいため息 / 青山七恵 著
- ・サイレント・キラー / 結城五郎 著
- ・小説の設計図(メカニクス) / 前田 墓 著
- ・ブルーベリー / 重松 清 著
- ・MOVED(ムーブド) / 谷村志穂 著
- ・サウスポイント / よしもとばなな 著
- ・戦争ノート / マルグリット・デュラス 著、田中倫郎 訳
- ・老首長の国 / ドリス・レッシング 著、青柳伸子 訳
- ・玉ねぎの皮をむきながら / ギュンター・グラス 著、依岡隆児 訳

ほか



利用案内

■開館日／火曜日～日曜日

午前9時30分～午後6時

■休館日／毎週月曜日（月曜日が祝日のときはその翌日も）

祝日・月末図書整理日・年末年始（12月29日から1月3日）・蔵書点検日

伊方町立図書館（伊方町生涯学習センター2階）

伊方町湊浦1992番地

TEL(0894)38-0607 FAX(0894)38-0617

瀬戸町民センター・三崎公民館にて図書の返却のみ可能。

7月図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

■休館日



ピップスおはなし会のごあんない

7月のおはなし会は12日(土)・26日(土)
の午後2時から30分程度

■対象：未就学児童および親子
小学校低学年

絵本の読み聞かせや紙芝居などをおはなしコーナーで行っています。
みんな、来てね！



7月の「佐田岬の自然 スライド上映会」

7月23日(水)

18:30~20:30

持ち込み写真、質問・
自慢話歓迎

入館無料 お気軽に！

◆今月のきょうどかん◆

2008年 7月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

■=おやすみ ■=夜スライド上映
休館日は都合により、変更する場合があります。

休館時間	TEL・FAX
(不在の場合)	39-0241
月ほか	38-2661
30	生涯学習課
16	
30	

町内小学生が町内めぐりで来館！



見学する子供たち（写真提供：三机小学校）

町見郷土館から

6月5日、瀬戸地域の小学3年生一行が町内めぐり！郷土館学芸員がバスガイド役となり町内各所を周遊、もちろん郷土館にも来て、展示にふれながらしっかり昔の暮らしを学んでくれました♪ ありがとうございました。

毎日の生活に欠かせなくなつたテレビ。いまや時代は地上デジタル放送へと移りつつあります。佐田岬半島の人々とテレビとの出会い、どのようなものだったのでしょうか。

日本のテレビ放送開始は昭和二八年、愛媛での放送開始は昭和三二年。湊浦の女性（昭和一六年生）は、昭和三一年頃伊方診療所の宇高先生の家が近所では早い

日本でも白黒放送の時代は、カラー放送っぽく見せるために、色の付いたシートの画面の隅に「カラー」という字が入っていたという話も

佐田岬民俗ノート

38

時期にテレビが来て巷で話題になつたといいます。九町の女性（昭和一六年生）は、学校帰りとかに窓越しに見たそうです。今のような四六時中放送ではなく、時間が限られていました。それでも、白黒放送の時代は、カラーフラッシュが入っていたので、ニュースは、小学校の頃、大分県のNHKで紅白歌合戦を見たことがあります。いっぽう二名津の男性（昭和三一年生）は、子供の頃、山口県の放送が入っていたので、ニュースも山口のものを見ていました。NHKで紅白歌合戦を見た津の男性（昭和三一年生）は、いい、源氏巻（津和野のお菓子）のCMも覚えていました。豊予海峡に突出し、海岸線が入り組んだ複雑な地形のためでしょうか、同じ地区内や隣近所の家同士でも、山谷の地形とアンテナの向きなどで、大分・山口・広島・愛媛など、番組の入つくる地域が違つたという話は、町内では当たり前の話かもしれません。でも、佐田岬半島らしい工芸ソードと言えやうですね。



昔のテレビ（町見郷土館蔵）

聞けました。ちょうどこの頃の皇太子御成婚（昭和三四年）などは、記憶に残る放送だつたようです。また大久の男性（昭和三一年生）によれば、昔は農協でテレビ購入をあつせんしてくれていて、農協にテレビ修理担当の部署もあつたそうです。九町の男性（昭和三五年生）は、小学校の頃、大分県のNHKで紅白歌合戦を見たことがあります。いっぽう二名津の男性（昭和三一年生）は、子供の頃、山口県の放送が入っていたので、ニュースも山口のものを見ていました。NHKで紅白歌合戦を見た津の男性（昭和三一年生）は、いい、源氏巻（津和野のお菓子）のCMも覚えていました。豊予海峡に突出し、海岸線が入り組んだ複雑な地形のためでしょうか、同じ地区内や隣近所の家同士でも、山谷の地形とアンテナの向きなどで、大分・山口・広島・愛媛など、番組の入つくる地域が違つたという話は、町内では当たり前の話かもしれません。でも、佐田岬半島らしい工芸ソードと言えやうですね。



人権学習シリーズ 221

一人と車と人権－

車が誕生して100年以上経った現在、私たちの住むこの地域にとって車は必要不可欠な“物”です。このような環境の中で、人と車にまつわる人権問題について、その一例を紹介いたします。

【バスの中の私】

いつものバス停に、いつものようにバスが止まつた。降りる人も乗ってくる人もいなかった。でも、バスは止まったままだった。なぜならバス停に車いすを利用している人がいたからだ。

運転手は「どうぞ、お乗りください。」とやさしく声をかけた。しかし、その人は何も応えることができなかつた。運転手は眉をひそめたものの、バスは何事もなかつたかのように出発した。

私は窓に映る自分の顔を見ながら、なぜかもやもやしていた…。
(人権・同和教育資料より)

うーん…何か考えさせられますね。それでは、このような見方をしたらみなさんはどう思いますか？

- あなたにも、似たような経験はありませんか？
- なぜ「私」はもやもやしていたのでしょうか？
- あなたが次の立場であったら、どんなことができたでしょう。

①運転手 ②車いすを利用している人
③バスの乗客

どうですか、何かを考えさせられることありますか？

瀬戸公民館長 清家吉明

もう一例、これはアメリカであった出来事です。

1960年ぐらいにアメリカであった裁判。車いすを利用している人がバスに乗ろうとしたが、バスの運転手はその人に対してドアを開けて「乗りたければ乗つていいよ。」と言っただけ。その行為に対して裁判所は「乗ってはいけない。」とは言っていないし、一般乗客と同じ取り扱いをしているので、バスの運転手を「差別ではない」と判断した。

しかし、1970年ぐらいになると同じような裁判で判断が逆転した。口では確かに「乗ってください。」と言っているけれども、乗れない状態であることは、だれの目にも明らかで、「乗りたければ乗つていいよ。」と言うのは、結局は「乗せない。」と言っているのと同じで、言い換えれば「外国人はこのバスには乗せない。」と言うのが差別になるのと同じように、「車いすを利用している人はこのバスには乗せませんよ。」と言っているのと同じ結果だから「差別である」と考えるようになった。

(愛媛県人権啓発センター人権啓発講演記録「障害のある人の人権」より)

この二つの事例は人権問題において、いろいろな面での共通点があるのではないでしょうか。目まぐるしく変化する社会情勢のなか、私たちは常に人権に対する意識を高め、そして自らの在り方・生き方について考えることが大切だと思います。このような思い・考え方を家庭や職場で話し合いの卓を持たれてはいかがでしょう。

－放送大学10月入学生募集－

放送大学はテレビなどの放送により授業を行う通信制の大学です。働きながら学んで大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、様々な目的で、幅広い世代の方が学んでいます。

ただいま平成20年10月入学生を募集しています。詳しい資料を無料で送付いたしますので、お気軽にお問い合わせください。

○募集学生の種類

－教養学部－

- 科目履修生(6ヶ月在学し、希望する科目を履修)
- 選科履修生(1年間 在学し、希望する科目を履修)

- 全科履修生(4年以上在学し、卒業を目指す)

－大学院－

- 修士科目生(6ヶ月在学し、希望する科目を履修)
- 修士選科生(1年間 在学し、希望する科目を履修)

○出願期間

平成20年6月15日～平成20年8月31日

○資料請求(無料)・お問い合わせ先

〒790-0826 松山市文京町3(愛媛大学内)

放送大学愛媛学習センター

TEL 089-923-8544

放送大学ホームページ <http://www.u-air.ac.jp>

